

佐賀石材株式会社

『「繁栄と継続」の事業承継～想いの引継ぎ～』

支援企業の概要

- 【代表取締役】佐賀淳（62歳）
 【創業】昭和25年創業 【従業員】4名（営業1名、石材工3名）
 【事業内容】石材業（石材販売、設置施工、メンテナンス）
 【強み・特長】
 可児加茂地区を地盤に、展示場を2つ有し墓石販売からアフターメンテナンスまで総合的に対応できる。「伯磊」展示場は、広大なガーデニング風庭園墓石展示場でひと月に500人以上が訪れる憩いのスポットである。
 【後継者】長男・佐賀亮彦（32歳）…専務、営業担当
 営業経験8年、商工会青年部に所属し自社のPRも積極的に実施している。



「伯磊」（はくらく）展示場

事業承継の課題など

- ①「経営面」では、墓石の販売減少による新たな事業展開の検討と今後の方向性を描く必要がある
- ②経営者と後継者間での「想い」や「理念」の共有と、後継者が主体となり発展的な事業承継を検討する
- ③①と②を踏まえ、「事業承継計画」を作成し、今後スケジュールや実施項目を共有する

支援内容など

- ①【現状分析】
決算書類等による財務内容の把握、及び経営者、後継者同席の上でヒアリング等を実施
- ②【支援プロセス（ポイント）】
初回は、経営者と後継者の事業承継に向けた取組意思を確認し
2回目は、経営者の意向を中心にヒアリング、3・4回目は後継者から今後の意向確認、助言等、5回目は後継者が主体となり作成した承継計画（骨子）を経営者に披露し、了承を得た
- ③【事業承継対策の作成】
 - i. 自社の歴史と経営理念の明文化
創業者（祖父）の格言「繁栄と承継」を現経営者から確認、これを発展的に整理し、後継者が経営理念を明文化した
 - ii. 承継計画（骨子）の作成
資産承継における問題は少ない点を確認していたため、知的資産経営の考え方で、後継者が承継計画を作成、適宜Bcoがアドバイスを実施した
- ④【支援後の取組】
専門家派遣事業を活用し、後継者が管理会計を学び販路開拓戦略も立案中



支援中の様子

成果・事業者の声など

- ①【経営者（社長）の声】
「まったく良いタイミングで支援を受けることができた。息子と話すのは仕事の打ち合わせばかりで、こうしてゆっくり先代のことやいろいろな話をする機会ができたことに感謝しています。これからも、息子の相談相手としてよろしくお願いします。」
- ②【後継者（専務）の声】
「経営理念に入れた「繁栄と継続」は、今回の支援を受けた中で社長から聞いた言葉で、先代社長と現在の社長も大切にしてきた想いと初めて知りました。今まで近くにはいたはずの社長からあらためて多くの気付きがあり、貴重な体験となりました。」
- ③【担当支援者（後藤経営指導員）の声】
「株や資産の承継なども大事ですが、事業承継支援で重要なのは、引き継がせる者から引き継ぐ者への心（想い）を承継させる支援であることを実感しました。」



支援後の様子